

企業セミナー

# 木材サプライチェーンの 違法リスクとデューデリジェンス



【日時】 2016年4月21日(木) 13:30~17:00 航空会館 701-702号 (東京都港区新橋 1-18-1)

【プログラム】

(敬称略)

13:30-13:35 開会

## [第1部]

13:35-14:15 中国からの調達で違法木材を避ける：  
木材製品を購入する日本企業へデューデリジェンスについての提言  
デイビッド・ゲール／環境調査エージェンシー (EIA)

14:15-14:55 違法リスクの高いサプライチェーンのためのデューデリジェンス  
～サラワク州の事例  
リック・ジェイコブセン／グローバル・ウィットネス

14:55-15:10 質疑応答・ディスカッション  
モデレーター： 足立直樹／(株)レスポンスアビリティ

15:10-15:20 休憩

## [第2部]

15:20-16:05 デューデリジェンスの実施 -EU 木材規則の経験  
ユシー・ロウ ナス ヴォア リ／EUプロジェクト専門家

16:05-16:30 日本企業はどこまで DD をやればよいのか？  
梶井まり／ディープグリーンコンサルティング

16:30-16:55 質疑応答・ディスカッション  
モデレーター： 足立直樹／(株)レスポンスアビリティ

16:55-17:00 閉会

【主催】 グローバル・ウィットネス、環境調査エージェンシー (EIA)、  
FoE Japan、地球・人間環境フォーラム

## 【講師／モデレーター プロフィール（敬称略）】

### デヴィッド・ゲール (David Gehl)

インディアナ大学卒業。同大学院公共政策学（環境政策）修士号。米国を本拠地として、違法伐採問題を明らかにした上で世界の森林、住民、野生生物及び地球環境を保護するための木材流通の変革を推進する NGO- Environmental Investigation Agency において、欧州アジア地域の森林広報活動を担当。特に、中国、日本、ロシアにおける違法伐採及び関連木材貿易対策活動の推進の責任者。

### リック・ジェコブセン (Rick Jakobsen)

ユタ大学生物学専攻。スタンフォード大学神経生物学専攻修士号。ロンドンを本拠地として紛争、汚職及び環境破壊の背景にある経済的結びつきを調査し、反対活動を行う NGO- Global Witness における森林政策責任者。同組織の日本における広報活動及びアジア太平洋地域における現地調査をリード。直近では、マレーシア（サラワク州）及びパプアニューギニアにおける違法伐採及びその結果としての人権侵害や環境破壊についての調査を実施。

### ユシー・ロウ ナス ヴォア リ (Jussi Lounasvuori)

EU プロジェクト専門家。林業修士。フリーランスコンサルタント。FLEGT（森林法施行、ガバナンス、貿易）、二国間協定（VPA）、そして EU 木材法全般に関して様々なプロジェクト等に関与。欧州森林研究所（EFI）のスタッフとして FLEGT の二国間交渉過程で生産国における木材合法性保証制度（TLAS）構築の過程にも関与。また ISO マネジメントシステム監査を通して、森林認証制度にも精通。環境影響評価における利害関係者とのコンサルテーションを多数コーディネート。

### 梶井まり

ディープグリーンコンサルティング代表。博士号（環境法学）。2007 年に CSR コンサルタントとして独立後、国内外の企業、研究機関、NGO にコンサルティングを提供。調査執筆、講演の他、持続可能なサプライチェーンの実施のサポート等を主な業務としている。環境経営学会（幹事）、環境経営学会サプライチェーンマネジメント研究会（事務局長）。跡見学園女子大学兼任講師。

### 足立直樹

レスポンスアビリティ代表取締役。東京大学理学部、同大学院で生態学を学び、理学博士号取得。1995 年から 2002 年までは国立環境研究所で熱帯林の研究に従事する。1999 年から 3 年間のマレーシア森林研究所(FRIM)勤務の後、コンサルタントとして独立。現在は株式会社レスポンスアビリティ代表取締役、企業と生物多様性イニシアティブ（JBIB）事務局長。多くの先進企業に対して、「どうすれば持続可能な社会に貢献できる企業になれるか」、「信頼される企業になるために、何をどのようにすべきか」を中心にコンサルティングを行っている。特に「企業による生物多様性の保全」と「CSR 調達（サプライチェーン・マネジメント）」を専門とし、アジアにおける CSR の推進にも力を入れている。